

TPP 協定第 18 回交渉会合の終了に当たっての声明

平成 25 年 7 月 25 日

自由民主党 TPP 交渉派遣議員団

本日、マレーシア国コタ・キナバルにおいて開催された TPP 協定第 18 回交渉会合が終了した。我が国は、国内での様々な議論を経るとともに、7 月 23 日アメリカの国内手続き終了を待って、正式に参加した。

我々は、政府交渉団に対し、農林水産分野の重要 5 品目をはじめとする聖域の確保のために、自民党及び衆・参農林水産委員会の決議を踏まえて交渉するよう、改めて強く申し入れた。また、この間において、今後の交渉も見据え、アメリカ、カナダの主要な経済団体、農業団体等と積極的な議員外交を展開し、日本の立場を強く主張した。併せて、その際、党・国会の決議英訳を手交し理解を求めた。

今回の交渉を通じ、遅れて参加したことによる不利益はないとの感触を得た。今後、交渉がどのように進展するか予断を許さないが、我が党は、TPP 対策委員会を中心に全党挙げて国益の確保に全力を尽くす決意である。

なお、この際、鶴岡首席交渉官を先頭に、交渉に当たった政府関係者の努力に対して、深甚なる敬意を表する。